



Support

ヘイトクライムを報告する

サンタアナ警察は、犯罪による被害者を支援するために最善を尽くしています。自分がヘイトクライムの犠牲者であると考えられる場合は、可能な限り早急にご報告ください。推奨される手順は次のとおりです。

- 必要な場合は、9-1-1 に電話報告し、医療支援を求めます。
- 事件について覚えているすべての詳細と、可能な場合は容疑者の詳細（性別、年齢、人種、身長/体重、衣服、傷跡/入れ墨など）を書き留めます。
- 可能であれば、事件による損傷や怪我の写真を撮ります。
- 対応した警察官に報告書を提出して、事件と写真（ある場合）に関するすべての情報を提供します。犯罪に関連するものはいずれも調査に役立ちます。

追加の支援が必要な場合は、サンタアナ警察に利用可能な手段に関する情報を提供してもらってください。ご質問やご不明な点がございましたら、本警察署までお気軽にお問い合わせください。

サンタアナ警察は、
犯罪を減らし、その被害者を保護
するための防犯戦略について住民
に解説し、住民と協力して取り組
むことを目的としています。

詳細については、サンタアナ警察まで
ご連絡ください。

サンタアナ警察
60 CIVIC CENTER PLAZA
SANTA ANA CA 92701
電話番号：714-834-4211

サンタアナ警察

ヘイトクライム 情報&リソース



DAVID VALENTIN
警察署長



ヘイトクライムとは

米国司法省は、ヘイトクライム（憎悪犯罪）を「人種、民族、出身国、宗教、性的指向、または障害などに係る、特定の属性を持つ人を傷つけ、脅迫することを目的とした、憎悪や偏見が元で引き起こされる暴力」と定義しています。さらに、カリフォルニア州刑法（PC 422.55 (a)）は、「被害者の1つまたは複数の…実際のまたは認識された特性のために、全体的または部分的に犯された犯罪行為」と定義しています。

全国的に、ヘイトクライムに対する諸法律があります。全国犯罪防止評議会によると、偏見が関係している場合、破壊行為、暴行、殺人などの犯罪もヘイトクライムとなり、これに対する刑罰はそれ以外の場合よりも厳しいといえます。

ヘイトクライム法の施行は、偏見を動機とする暴力を防止することを目的としています。ヘイトクライムを抑えて防止するための追加の手段は、コミュニティのメンバーが集まって、ヘイトクライムとそれをコミュニティで防止する方法を学ぶことです。ヘイトクライムによる被害は重大であり、被害者に深刻な影響を与えているため、これはコミュニティが知っておくべき重要な問題とされます。

FBIは、全国的な範囲でヘイトクライムの統計を追跡して公開しています。現在まで犯された事件数は、ヘイトクライムが国内の社会生活に壊滅的な影響を及ぼしている極めて重大な問題であることを示しています。詳細情報及び現在のデータを見るには、FBIのWebサイト (www.fbi.gov) にアクセスしてください。

ヘイトクライムの防止

成人に求められること：

- 人々に対して敬意をもって行動し、態度を取り、発言することにより、良い模範を示す。
- コミュニティにおける偏見と憎悪による暴力の可能性について調査し、予防措置についてブレインストーミングするためのフォーラムを組織する。
- 常に注意を払うために、法執行機関にヘイトクライム統計を要求する。
- 偏見を動機とする事件は犯罪であり、法執行機関に報告する必要があるという一般の認識を高める。
- 警察及び保安部門に対する偏見を動機とする犯罪を特定して対応するためのトレーニングをサポートする。
- 捜査機関から承認を得た後、偏見を動機とする落書きを即時削除し、その場所に多様性を示す壁画を描いておく。
- 学校、企業、またはコミュニティグループと協力して、「偏見関連の犯罪が私たちのコミュニティをどのように傷つけているか」に関するポスターまたはエッセイコンテストを後援する。
- 偏見を動機とする犯罪の被害者である同僚または隣人に支援を提供する。

青少年に求められること：

- 学校で紛争解決プログラムを開始する。
- 自分とは異なって見える人々に話をかけ、挨拶を交わす。
- すべてのステレオタイプを拒否する。
- 差別またはヘイトクライムの事件を親、法執行機関、および教師に報告します。
- 幼い子供たちに偏見に関する認識を与えるためのピア教育プログラムを開始する。
- コミュニティのすべてのメンバーがヘイトクライム防止戦略を共有できる、コミュニティ規模の敬意の日または対話の日を開催する。
- 前向きな反暴力メッセージを皆と共有する。
- 学校または地元規模の犯罪監視プログラムを開始する。
- 地方自治体の代表に手紙を寄せて、アイデアを共有することにより、暴力の防止に寄与する。
- 偏見を動機とする犯罪の被害者である同級生に支援を提供する。

認識の向上

現在、憎悪や偏見を動機とする犯罪が増えつつあります。人種差別、偏見、差別の持続と、特定の属性を持つ人への理解の欠如は、この問題が起こり続ける原因となっています。グループ全体に内在する憎悪は、自分自身の偏見以外の特別な理由がない限り、生まれつきのものではなく、学んだものです。必ず正しい認識をもって互いに協力してこそ、問題解決への道が開かれます。オープンディスカッションに参加して人々と意見を交わしながら、この問題に対処する方法を議論することが重要です。お住まいの地域のヘイトクライムを管理し、その発生を阻止するように周囲の人々に正しい認識を与えましょう。

****全国犯罪防止評議会のウェブサイト www.ncpc.org によって提供される情報

参考資料

サンタアナ警察
人道に対する罪調査ユニット
(714) 245 - 8390

CSP 被害者支援プログラム
被害者/証人支援プログラム—犯罪被害者のためのサポートサービス
サンタアナ
(714) 834 - 4350

CSP ユースシェルター
危機シェルター及び青少年（11～17歳）のためのカウンセリング
(949) 494 - 4311

オレンジカウンティ法的援助協会
(714) 835 - 8806

犯罪被害者の権利—(800) 被害者